

安全データシート (SDS) NPG (ネオペンチルグリコール)

作成日 : 2016.01.01
管理番号 : WH1601-01

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	Neopentyl Glycol (ネオペンチルグリコール)
一般名	2,2-ジメチル-1,3-プロパノール
販売会社名	万華化学ジャパン株式会社
住所	〒105-0011 東京都港区芝公園 3-4-30 32 芝公園ビル 3 階
電話番号	03-5777-6787
FAX 番号	03-5777-6797
緊急時の電話番号	03-5777-6787
推奨用途及び使用上の制限	合成樹脂原料、潤滑剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類区分

【物理化学的危険性】

該当区分なし

【健康に対する有害性】

・ 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

強い目刺激性

注意書き

安全対策

取扱の際はアースをする。

取扱中は保護眼鏡、保護手袋を着用し、必要に応じて防毒マスクまたは送気マスクを着用する。

取扱後は、手洗いを十分にする。

救急措置

目に入った場合は、直ちに多量の水で 15 分以上洗った後、医師の診断を受ける。

皮膚に触れた場合は、直ちに多量の水と石けんで洗い落とす。

飲み込んだ場合は、無理に吐き出さず、直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、直ちに医師の診断を受ける。

その他の危険有害性

粉末または顆粒状で空気と混合すると、粉塵爆発の可能性がある。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で

安全データシート (SDS) NPG (ネオペンチルグリコール)

作成日 : 2016.01.01
管理番号 : WH1601-01

「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

単一製品

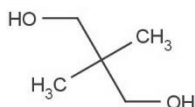
化学名又は一般名

2,2-ジメチル-1,3-プロパンジオール

成分及び含有量

99%以上

化学式および構造式



分子量	104.14
CAS No	126-30-7
EC No	204-781-0
官報公示整理番号	
化審法	(2)-240
安衛法	公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合

- 直ちに、被災者を新鮮な空気のある場所に移す。
- 被災者を毛布等でおおい、呼吸しやすい姿勢で安静にする。
- 速やかに医師の診断、治療を受ける。
- 気分が悪い時は、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

- 直ちに、汚染された衣類、靴などを脱ぐ。
- 皮膚を速やかに多量の水と石鹸で洗う。
- 皮膚刺激、発疹が生じた時、気分が悪い時は医師の手当てを受ける。
- 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。

目に入った場合

- 直ちに、水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて固着していないければ除去し、洗浄を続ける。
- まぶたを親指と人さし指で上げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。
- 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。
- 眼刺激が消失しても、遅れて障害が現れることがあるので、必ず医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

- 直ちに医師に連絡する。
- 速やかに、口をすすぎ、うがいをする。
- 大量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。
- けいれんや意識混濁がある時又は意識がもうろうとしている時には吐かせてはいけない。意識が

安全データシート（SDS） NPG（ネオペンチルグリコール）

作成日：2016.01.01
管理番号：WH1601-01

ない時は、何も与えない。

嘔吐が自然に生じた時は、気管への吸入が起きないように、頭を尻より下に身体を傾斜させ、肺への還流を防ぐ。保温に努め、速やかに医師の診断、治療を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末、二酸化炭素、泡消火剤、水噴霧

大火災の場合、空気を遮断できる泡消火剤が有効である。

使ってはならない消火剤

情報なし

消火を行う者の保護

消火作業の際は風上から行い、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。

漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。

風上から作業し、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。

蒸気が多量に発生する場合は、水噴霧し蒸気発生を抑える。

密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。

環境に対する注意事項

河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。

油又は有害液体物質による海洋の汚染の防止のため、海上で薬剤を使用する場合は国土交通省令・環境省令の規定に適合すること。

回収、中和

情報なし

二次災害の防止策

事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。

周辺の発火源を速やかに取除く。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱いは換気のよい場所で行う。

取扱い場所の近くに、洗身シャワー、手洗い、洗眼設備を設ける。

注意事項

火気厳禁。火気、高温物、スパークなど着火源の生じないように注意する。

静電気対策を行う。

漏洩、飛散の起こらないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。

接触、混合により発火、重合などを起こす強酸化物、過酸化物などには注意する。

安全データシート (SDS) NPG (ネオペンチルグリコール)

作成日： 2016.01.01
管理番号：WH1601-01

密閉設備内で扱うか、又は局所排気装置が設置された場所で作業を行う。排ガスには、
臭気の拡散防止のため、除害設備を設けることが望ましい。

局所排気・全体換気

防爆仕様の換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。

蒸気は空気より重く、床に沿って移動することから、床面に沿って換気する。

接触回避

炎、火花または高温体との接触を避ける。

保管

直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

混触危険物質

強酸化剤

容器包装材料

ガラス

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない。

許容濃度 設定されていない。

設備対策

防爆の電気・換気・照明機器を使用する。

静電気放電に対する予防措置を講ずる。

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。

ミスト、蒸気が発生する場合、換気装置を設置する。

保護具

状況に応じ、有機ガス用防毒マスク

送気マスク、空気呼吸器、ゴーグル、ゴム手袋、ゴム長靴等を着用する。

ゴム手袋であっても僅かに浸透するので長時間の液中での作業は避ける。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。

取扱い後はよく手を洗う。

保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	白色固体 (20℃)
臭い	無臭
pH	データなし
融点・凝固点	124-130℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	210℃
引火点	107℃
燃焼又は爆発範囲	下限 1.37vol% 上限 18.8vol%
蒸気圧	データなし
蒸気密度 (空気=1)	9

安全データシート (SDS) NPG (ネオペンチルグリコール)

作成日 : 2016.01.01
管理番号 : WH1601-01

比重 (密度)	1.066
溶解度	水・アルコール・エーテルに可溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし
発火点	470℃
分解温度	データなし
粘度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

適切な条件下においては安定

危険有害反応可能性

粉末または顆粒上で空気と混合すると、粉塵爆発の可能性はある。

避けるべき条件

静電放電

混触危険物質

酸化剤

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

orl-rat LDLo:3200 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

情報なし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

情報なし

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

IARC : 情報なし

NTP : 情報なし

生殖毒性

情報なし

RTECS 番号

TY5775000

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類 : 48h LC50:>10000 mg/L (*Oryzias latipes*)

甲殻類 : 情報なし

藻類 : 情報なし

安全データシート (SDS) NPG (ネオペンチルグリコール)

作成日 : 2016.01.01
管理番号 : WH1601-01

残留性/分解性

1.2% (by BOD), 1.4% (by TOC), 0.3% (by GC)

* 既存化学物質安全性点検による判定結果 : 難分解性

生体蓄積性(BCF)

0.3 - 0.5 (conc. 10 ppm), <9 (conc. 1 ppm)

* 既存化学物質安全性点検による判定結果 : 低濃縮性

土壌中の移動性

オクタノール/水分配係数 : -0.84

土壌吸着係数(Koc) : 情報なし

ヘンリー定数(PaM³/mol) : 3.1 x 10⁻²

13. 廃棄上の注意

廃油、高濃度廃水、スラッジなどはそのまま又は可燃性溶剤とともに、適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、

アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

少量ずつ焼却炉に噴射して焼却処理するか、又は一定容器に取りまとめ、

廃棄物処理免許をもつ処理業者に依頼する。

低濃度廃水は活性汚泥等で処理する。

14. 輸送上の注意

国連分類

国連の基準に該当せず

国連番号

該当なし

輸送の特定の安全策及び条件

運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、

荷崩れの防止を確実にを行い、法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

該当なし

16. その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社

GHS 分類結果データベース nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP

GHS モデル MSDS 情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点においての知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。